

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	ながおか医療生活共同組合	代表者	羽賀 正人	法人・事業所の特徴	長岡市内で複数の診療所や多数の高齢者施設を運営する医療生活協同組合が平成19年に開設した小規模多機能型居宅介護施設である。認知症対応型共同生活介護が併設されている他、同じ法人の通所介護や介護付（混合型）有料老人ホームも隣設されており、互いに協力・連携して運営されている。また、経営母体の診療所とは日頃から緊密な連絡をとり情報を共有し、適切な医療が受けられるよう支援している。
事業所名	プラット笹崎	管理者	田中 太一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	2人	1人	1人	1人	1人	0人	2人	0人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ●前回未達成の項目への取組みを、引き続き行う。 ●スタッフ評価や事業所評価項目に対する職員の理解度に差があるため、各自趣旨などを理解した上で取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ●スタッフ評価の前に学習会を設け、評価項目を理解し評価を行なった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●職員の異動や、介護未経験職員の採用により、各評価項目に対し理解に差がある。 ●事業所自己評価の改善計画に対し、取り組みが行えなかった計画があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●スタッフ評価や事業所評価項目に対する職員の理解度に差があるため、昨年度に引き続き評価前に学習会を開催する。 ●事業所自己評価の改善計画の進捗状況を、3ヶ月ごとに事業所会議にて確認し、確実に実施する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ●常に居心地の良い空間となるように利用者や職員の意見を聞きながらテーブルやソファを配置し、排泄物により異臭がホールなどに留まらないように随時、換気とトイレの消臭に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ●仲の良い利用者同士がくつろげるように、連日、食事席を変更し配慮した。ホール内や廊下の壁面には季節に応じた飾りつけや利用者の活動写真を掲示して心地よい共同空間を意識した。利用者の作品を掲示することで、安心した生活が送れるよう環境づくりに努めた。定時の換気・汚物処理を実践し感染症蔓延や消臭に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●インターホンを押すと直ぐに対応して頂いているし、スリッパが履きやすいように綺麗に並べてある。 ●事業所内の装飾等で温かみを感じる。 ●飾りつけ等がされていて良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者・家族アンケートを継続実施し、その結果から事業所で過ごし易い環境を整備する。(年2回、3月・8月実施) ●利用者が安全に過ごしていただけるよう、必要に応じ設備、備品の入れ替えを検討する。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ●以前交流を行っていた幼稚園や小学校へ再度働き掛け、子供達と利用者が楽しく交流ができる機会を設ける。 ●地域向け広報誌に事業所の概要を掲載し、地域の身近な事業所である事をお知らせする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●小学生の慰問を受け入れ、交流の場を設けた。年4回、地域向け広報誌の配布を行った。その際、行事の参加、事業所内の避難訓練を呼び掛けて町内の方との交流を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●気持ちの良い挨拶をして頂いている。 ●地域を回ったり相談対応する中で、地域住民の方から事業所の話題を聞いた事は無いが、地域の中で地域の中で安定した存在だからか？ ●知ってもらえる為の取組は行っているが、実際の周知度合が不明。 	<ul style="list-style-type: none"> ●町内の総会等で事業所に関する説明や地域向け広報誌にて事業所での取組みを報告し、気軽に立ち寄り相談できる拠点を目指す。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者個々が暮している地域包括支援センターや民生委員等と日常的に連携を図り、地域課題と社会資源把握に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ●困難事例等、その都度地域包括支援センターへ報告し連携を図った。地域資源についての学習会を開催し知識を深めたが、利用者個々が暮らしている地域資源の把握までには至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●計画的なお楽しみ外出がある。 ●積極的な外出支援がなされている。 ●特に報告がなかったため、該当の方がいるかも不明。 ●参加可能なイベントが無い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域資源マップを作成し、利用者個々が暮らしている地域資源を把握し活用する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ●会議の枠にとらわれずボランティアで来られる方など広く色々な方から意見を聞き、運営推進会議にて検討し事業の改善に繋げる。 ●運営推進会議構成員が施設内を見学できる機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ボランティアなどで来られる方から、地域の困り事などを伺うも、情報を得る事は無く運営推進会議にて検討する機会がなかった。 ●事業所を見る機会が少なく、意見を出しにくいとの意見が聞かれ、運営推進会議開催日に会議参加者から施設内を見学していただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●会議資料に運営状況がまとめられ判りやすい。 ●地域で心配の方のケースがなかった。 ●端的にまとめられていて良かった。 ●対象者がいないのか？それも含め話題に上らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議にて寄せられた提案や意見は、事業所会議にて検討実践し、次回会議で報告する。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●防災や水害の避難訓練の実施日を、運営推進会議開催日である5月と9月の第2火曜日に定める。 	<ul style="list-style-type: none"> ●防災・水害時避難訓練を運営推進会議開催日に設け、会議参加者から意見や要望をお聞きし、改善に繋げた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●研修や避難訓練をしっかり行っている。 ●運営推進会議にて防災マニュアルを確認した。 ●訓練の様子を初動のみ拝見した。 ●職員間の情報共有が実際上手くいくか、少々不安を感じたが、対利用者に対しては安心できそうだと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●事業所で実施する「AED講習会」に地域の方にも参加してもらえるよう、地域向け広報誌にて案内を行う。地域の防災訓練に参加する。
----------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------